

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上国の経済および社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的として設立された独立行政法人です。主な事業として技術協力（研修員の受入、専門家の派遣、機材の供与、開発調査など）、JICA ボランティア派遣、有償・無償資金協力事業、災害緊急援助や市民参加協力促進事業などを行っています。

JICA の開発教育支援プログラム

- (1) 国際協力出前講座 … JICA ボランティア等を経験した方々が学校等に出向いて話をします。
- (2) JICA 二本松 施設訪問学習 … JICA 二本松の訓練所内の見学をはじめ、ボランティア体験談、開発教育プログラム等を実施します。
- (3) JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト … 中学生・高校生を対象に、国際協力についての考え方や地球市民としての心がけなどをエッセイに綴っていただくコンテストです。
- (4) 開発教育指導者研修 … 教員、教育関係者を対象とした開発教育の実践手法を学ぶ研修プログラムです。
- (5) JICA プラザ … JICA 二本松施設内にある展示室で、様々な国の民芸品や民族衣装を展示しています。またこれらに加え国際協力に関するビデオ、写真パネルの貸し出しもしています。
- (6) 国際協力を考えるセミナー
 - ・ユース国際協力ミーティング … 高校生を対象にした1泊2日の開発教育プログラムです。
 - ・グローバルセミナー … 一般市民(高校生以上)を対象にした開発教育プログラムです。

● JICA ホームページ

- ・ JICA 全体のホームページ <http://www.jica.go.jp/>
- ・ JICA 二本松のホームページ <http://www.jica.go.jp/nihonmatsu/index.html>

モンゴル国 (Mongolia)

- (1) 首都：ウランバートル
- (2) 面積：約 156.4 万平方km（日本の約 4 倍）
- (3) 人口：約 270 万人
- (4) 民族：モンゴル人（全体の 95%）およびカザフ人等
- (5) 言語：モンゴル語（国家公用語）、カザフ語
- (6) 宗教：チベット仏教等
- (7) 通貨：トグログ（1米ドル=1,433 トグログ 2009年11月下旬）
- (8) 略史：1911年辛亥革命により中国（清朝）より分離し自治政府を樹立、1919年自治を撤廃し中国軍閥の支配下に入る。1921年活仏を元首とする君主制人民政府成立（人民革命）、1924年活仏の死去に伴い人民共和国を宣言。1990年複数政党制を導入、社会主義を事実上放棄し大統領制に移行。1992年モンゴル国憲法施行（国名を『モンゴル国』に変更）
- (9) 気候：亜寒帯もしくはステップ気候区分に属し、ほぼ通年乾燥している。ただし夏は夕立のような雨が降ることも多い。気温は年較差が非常に大きく、夏は+40℃近くまで上がり、冬は-30℃以下まで下がる。また一日の中での気温変化も大きい。

【参考】「外務省 HP-各国・地域情勢」外務省

平成 22 年度 教師海外研修 募集要項



写真：今村 健志朗 / JICA

草原・ゲル・遊牧民・ジンギスカン・蒙古斑・厳冬の地。あるいは大相撲で活躍するモンゴル出身力士等々が一般的にモンゴルに対して抱くイメージでしょうか。旧ソ連に次ぐ世界で 2 番目の社会主義国として国家建設を進めたものの、旧ソ連の崩壊とともに自由主義経済の荒波に揉まれ、格差などの歪みを抱えながらも様々な社会体制の変革を進めている国でもあります。

そのモンゴルでは、福島市立小学校の教員が現職教員特別参加制度で青年海外協力隊員として派遣され、教育現場の改革と改善の一助になろうと活躍中です。

福島県教育委員会は、今年度から始まる第 6 次福島県教育総合計画で施策のひとつとして JICA と連携し国際教育を推進することを掲げています。福島県内の教員の皆さんには、是非この機会を利用して多くの開発教育の素材や題材を得ていただき、県内各学校での国際教育の実践に活かしていただきたいと願っております。

多くの意欲のある教員の皆さんのご参加をお待ちしています。

海外研修国：モンゴル国

海外研修日程：平成 22 年 8 月 16 日(月)～8 月 26 日(木)

※ ただし諸事情により変更となる場合がありますので予めご了承ください。

応募締切：平成 22 年 5 月 21 日(金)

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

担当機関：独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局二本松青年海外協力隊訓練所（JICA 二本松）

後援：外務省・文部科学省・福島県教育委員会

【研修のねらい】

経済、雇用、食料、エネルギー、環境、文化…。私たちの暮らしのあらゆる場面で、国際社会との関わりなしには成り立たないことを痛感させられることが、近年ますます多くなってきています。こうした社会に巣立つ子どもたちに、国際社会の中でしっかりとした営みをしていくことのできる力を如何に身に付けさせることができるか。教育の現場でも様々な試みに取り組みられています。

教育基本法が第2条で定める教育の目標として、第5号後段で「国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ことを掲げているとおり、教育の現場において国際教育や開発教育を行うことは、時代の要請でもあるといえるでしょう。

JICA では、長年培ってきた開発途上国への国際協力事業を通じて得た様々な情報や知見を、是非教育現場で活用していただくことと開発教育支援事業を行っています。

この教師海外研修もそうした観点のひとつとして実施しているもので、この研修を通して、実際に国際協力の行われている開発途上国の現場を知っていただき、日本と各国との関係の深さや人々の交流のあり方を考えていただき、また実際に授業で使える様々な情報や材料を持ち帰っていただき、福島県での国際教育のいっそうの充実に役立てていただきたいと思います。

併せて、この研修に参加された教員の皆さんが中心となって、県内のより多くの学校で、より多くの先生方が、より質の高い国際教育を行っていただけるよう、ネットワークを広げる推進者となっていただけることを期待しています。

【研修日程】

スケジュール	場所	日程	内容
派遣前研修 〔2～3 回程度〕（※1）	JICA 二本松 〔二本松市〕 （※2）	平成 22 年 6 月上旬から 8 月上旬までの期間内で 2～3 回の研修を予定 （※1, 3）	JICA 事業概要、モンゴル国事情、開発教育手法研修、海外研修の日程説明、渡航手続き説明など
海外研修（※4）	モンゴル	平成 22 年 8 月 16 日（月）～26 日（木）	・ ODA/JICA 事業の視察 ・ JICA ボランティアの活動現場視察、交流 ・ NGO 活動現場視察 ・ 市民の生活事情視察（※5）
帰国後研修	JICA 二本松 〔二本松市〕	平成 22 年 12 月 11 日（土）～12 日（日）	ふくしまグローバルセミナー2010 における分科会での発表
実践報告会（※3）	JICA 二本松 〔二本松市〕 （※1）	平成 23 年 1 月下旬または 2 月上旬	研修の素材を活かした授業の実践や実践内容についての発表などを通じた開発教育実践手法の研修

※上記プログラムの日程や内容等につきましては、諸事情により変更となる場合があります。

※1 派遣前研修の回数および日程については、選考結果を通知する際にお伝えします。

※2 派遣前研修および実践報告会の会場は JICA 二本松を予定していますが、諸事情により変更となる場合があります。

※3 派遣前研修または実践報告会のいずれかを、開発教育指導者研修として他の教育関係者等の参加者を得て実施する場合があります。

※4 海外研修の日程は諸事情により前後する場合がありますので、ご了承ください。

※5 海外研修においては、モンゴルの教育事情視察、教育関係者や生徒との交流、一般市民との交流の機会が得られるよう極力努めますが、夏期休暇中などのモンゴル側の事情により、実施できない場合があります。

【応募資格】

- ①福島県内の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校等に勤務する教員で授業や課外活動等で国際教育・開発教育を実践していること。
(講師、臨時任用等の方も応募できますが、将来にわたって国際教育・開発教育に関わっていくことを望んでいる方に限ります。)教育委員会、教育事務所、教育センター等に勤務する指導主事等で、国際教育・開発教育の実施に係る業務(実施促進、実施手法指導等)に携わっていること。
- ②平成 22 年 4 月 1 日現在、満 50 歳未満であること。
- ③所属する学校長・教頭または所属長の推薦があること。
- ④過去に本研修に参加された方、JICA ボランティア、JICA 専門家、ODA 民間モニター等、ODA 事業の一環として海外に派遣された経験のある方は、定員に空きのある場合に限り、参加を認めることがあります。

【参加条件】

- ①教師海外研修の趣旨・目的を十分理解し、国内で実施される派遣前研修、帰国後研修、および海外研修の全てのプログラムに参加可能であること。また、全行程に参加するに耐えうる健康状態であること。
- ②研修における映像および授業実践例を JICA ホームページ、その他必要に応じて一般公開発表（セミナー発表を含む）することに同意いただけること。
- ③将来にわたって JICA が実施する開発教育支援事業に協力可能なこと。帰国後必ず研修成果を実践に活かしていただけるとともに、将来にわたって国際理解教育/開発教育の推進をしていただくこと。また、そのために有益な教員ネットワークの形成に積極的に関わっていただけること。

【募集人数】

6 名

※ 最少催行人数 4 名（参加者が 4 名に満たない場合は実施を見送ります。）

【参加費用】

参加者の個人負担と JICA の負担は以下の通りです。

	個人負担経費	JICA 負担経費
国内研修	・食費 ・その他個人的性格の費用	・所定国内研修にかかる交通費ならびに宿泊費（JICA 規定に基づく）
海外研修	・パスポート取得に係る費用 ・食費 ・宿泊費（※） ・追加保険の加入費用 ・その他個人的性格の費用	・査証代 ・海外研修出発時および帰国時の国内交通費 ・往復海外渡航費（航空賃） ・空港使用税 ・現地視察に必要な交通費および入場料 ・現地視察に必要な経費（車両備上、通訳など） ・国内および海外旅行保険加入費

※ 現地での食費および宿泊費は、一日約 10,000 円とお考え下さい。

【応募方法】

所定の応募用紙に必要事項をご記入の上、JICA 二本松・教師海外研修係宛にご送付下さい。

【応募締切】

平成 22 年 5 月 21 日（金） JICA 二本松必着

【選考】

提出書類による選考結果は、平成 22 年 5 月 28 日（金）頃までに通知します。

【サービスの取扱いについて（公立学校教職員の方）】

福島県ならびに福島県内市町村・事務組合の設置する公立学校に勤務する教職員の方は学校長の承認により、「承認研修」として、職務に専念する義務の免除（職専免）の取扱いとすることができます。JICA からの正式参加決定通知後、所定の承認研修の手続きを行って下さい。

【報告書の提出など】

- ①帰国後は 2 週間以内に研修報告書（所定様式）を提出していただきます。
- ②研修での成果を、授業または課外活動などで実践した報告書を平成 23 年 1 月中旬までに提出していただきます。
報告書、授業実践例は冊子として製本の上、関係先に配布するほか、PDF 化し JICA のウェブサイトに掲載・一般公開の予定ですので予めご了承下さい。

【その他注意事項】

- ①本事業は研修旅行であり、JICA における労災保険などの適用はありません。
- ②JICA は出張命令依頼書等の発出を行いません。
- ③所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。
- ④研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける方、決められた活動に参加できない方については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費などに係るキャンセル料、帰路の旅費等は、当該者の全額負担となりますのでご了承ください。

【問い合わせ先】

JICA 二本松 〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2

TEL : 0243-24-3200(代表) FAX : 0243-23-3214 E-mail : jicanjv@jica.go.jp